

第4次士別市食育推進計画（案）の概要

1 計画の概要

市は、令和2年度に策定した「第3次食育推進計画」に基づき食育施策を推進しています。この計画は、本市の食育事業を総合的、計画的に推進する指針として、食育基本法第18条に基づき策定しています。

令和5年度が当該計画の最終年度となることから、食育に関するアンケートにより明らかとなった本市の課題を盛り込むとともに、国の食育推進基本計画や道の食育推進計画など関連計画の状況も踏まえて、「第4次食育推進計画」を策定します。

2 計画期間

令和6（2024）年度～令和15（2033）年度の10年間 ※令和10（2028）年度に中間評価実施

3 基本理念

第3次食育推進計画から下記の基本理念及び方針・基本目標を承継しています。

基本理念：天塩川の恵みのもとに 食で育む健やかな人とまち

方針1 健康な体を育むための食育推進

基本目標1－①規則正しい食習慣を身につける

②栄養バランスに配慮した食生活を実践する

方針2 豊かな心を育むための食育推進

基本目標2－①食べものの大切さを知り食に感謝の心を持つ

②食を楽しむ

③食を通して環境への理解を深める

方針3 元気なまちをつくるための食育推進

基本目標3－①地元の食材を用いて豊かな食生活を実践する

②地域の農業や食産業に対する理解を深める

③関係機関の連携を深める

4 計画推進の主な取り組み

計画を推進するため、方針に基づいた主な取り組みは次のとおりとします。

- ◇ 妊婦・乳幼児期：マタニティスクール、離乳食教室等
妊婦・胎児の健康維持と離乳食への理解促進
- ◇ 学童期・思春期：ふるさと給食、農業学習等
地場産品への理解と地産地消、自然と食への理解促進
- ◇ 青年期～高齢期：若年者健診・特定健診、特定保健指導等
食事のコントロールと生活習慣の改善
- ◇ 健康・栄養相談、教育
望ましい食生活の実践方法等の普及・啓発
- ◇ 食生活改善推進員の育成・活動支援
料理教室やイベント等での食育推進

- ◇ しっかり野菜349g（サフォーク）レシピの周知
野菜摂取量の向上
- ◇ 地元農畜産物等の情報発信
地産地消と地元農業の発展
- ◇ 食育出前講座
講話・調理実習を通じた食育の推進

5 第3次計画の課題と第4次計画の主な改正点

第3次計画の評価のため、令和4年度に食育に関するアンケートを実施、課題を整理し、第4次計画に盛り込むとともに、数値目標を設定しました。

課題1 働き盛り世代の男性の肥満が多く、生活習慣病予防の実践率が低い 若年層の朝食欠食率が高い

- ▶ 20～39歳男性の約40%が肥満 → 20～39歳男性のBMI25.0以上の割合：20%以下
- ▶ 生活習慣病予防のための食生活にあまり気を付けていない20～50歳代男性の割合は62.2%
→ 生活習慣病予防・改善に取り組む市民の割合：75%以上
- ▶ 20～39歳男性の36.7%、女性の33.7%が朝食を摂取していない
→ 20～39歳の朝食を食べる市民の割合：85%以上

課題2 高校生男女のやせが多い

- ▶ 高校生の約20%がやせとなっており、栄養不足の可能性がある
→ 高校生男女のBMI18.5未満の割合：10%以下

課題3 高校生、20～39歳の野菜摂取量が不足している 「しっかり野菜サフォーク（349g）レシピ」の認知度が低い

- ▶ 野菜の摂取量が目標である1日350gを下回っている
→ 野菜の摂取量：350g以上
- ▶ 「しっかり野菜349g（サフォーク）レシピ」の認知度は約20%
そのうち作ったことがある方は約20%（全体の約4%）
→ 目標値を新設 認知度：50%以上 実践度：20%以上

目標値の新設

- ▶ 「残さず食べよう349（サフォーク）運動」（独自施策）
→ 認知度：50%以上 実践度：20%以上

「5 第3次計画の課題と第4次計画の主な改正点」で触れた項目の中の、主な取り組み

- ◇若い世代への食育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・計画（案）15ページ
- ◇生活習慣病予防、重症化予防に向けた食育の推進・・・・・・・・計画（案）15ページ
- ◇しっかり野菜349g（サフォーク）レシピの普及啓発・・・・・・・・計画（案）15ページ
- ◇食品ロス削減の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・計画（案）17ページ

以上、4点について特に意見を求めます。